

協働のまちづくり LIVE市民フォーラム【報告】



○第1回

■日 時：令和11月1日（金）19：00～20：30

■場 所：草津市役所2階特大会議室

■参加者数：13名（評価委員会委員含む）

○第2回

■日 時：令和11月2日（土）10：00～11：30

■場 所：草津市立市民交流プラザ

■参加者数：16名（評価委員会委員含む）

主 催：草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会

共 催：草津市まちづくり協働課

当日の流れ

1 挨拶

- 1 日目 土山 希美枝【草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価員会副委員長】
2 日目 中川 幾郎【草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価員会委員長】

2 参加者自己紹介

- 1 人 1 分程度
- ・名前
 - ・参加した経緯や理由
 - ・フォーラムに期待していること

3 フォーラムの概要説明

- ・本日の趣旨
- ・タイムスケジュール
- ・聞きたい内容等の説明
 - ①協働による活動をしたことがあるか
 - ②活動から得られたことや考えたこと
 - ③草津のまちの中で、市民の「つながり」を広げていくために必要なこと、大事なこと
 - ④計画や「協働」について、気になること、わからないこと、言いたいこと

4 計画の概要説明

まちづくり協働課より、「協働」や計画について説明

5 3 人 1 組で話し合い

「③ フォーラムの概要説明」の「聞きたい内容」について、自由に話し合い

6 全体で意見交換

「⑤ 3 人 1 組で話し合い」で話し合った内容について、全体で共有
→意見交換

7 全体のまとめ

- 1 日目 土山 希美枝【草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価員会副委員長】
2 日目 中川 幾郎【草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価員会委員長】

当日の参加委員・様子

1日目

○日時：令和11月1日（金）19：00～20：30

○場所：草津市役所2階特大会議室

○草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会 参加委員

【進行】土山 希美枝（龍谷大学 教授）

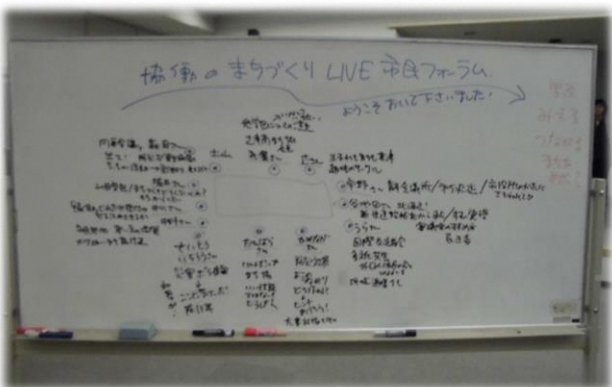
中川 幾郎（帝塚山大学 名誉教授）

花澤 仁左エ門（志津南学区まちづくり協議会 会長）

辻 圭子（AI・AI 代表）

堀井 喜一（公募市民）

○当日の様子



2日目

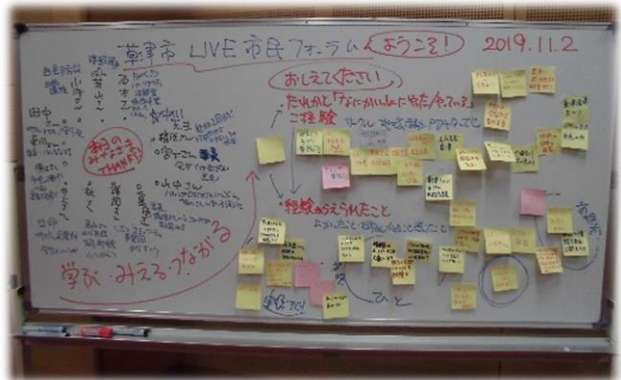
○日時：令和11月2日（土）10：00～11：30

○場所：草津市立市民交流プラザ

○草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会 参加委員

【進行】中川 幾郎（帝塚山大学 名誉教授）
土山 希美枝（龍谷大学 教授）
重原 文江（くさつ☆パールプロジェクト代表）
宮下 千代美（ディフェンス 理事）
井上 拓也（立命館大学総務部BKC地域連携課課長）
東川 八恵子（公募市民）

○当日の様子



参加者からの意見

(主な意見)

- ・ 役員のなり手が少ない
- ・ 災害、犯罪に対応できるまち
- ・ まち協、町内会の活性化
- ・ つながれる場をつくる
- ・ 男女共同参画
- ・ 人間関係には時間がかかる
- ・ 生の声を聞くことの難しさ
- ・ 対等なコミュニケーションが必要
- ・ 笑顔、楽しい、ためになる活動
- ・ キーパーソン、リーダーの発見
- ・ 多文化共生
- ・ ボランティアの有償化
- ・ 誰もが参加できるイベント

今後のまちづくり

- ・ 参画できない人にとっても住みよいまちになることが大切である。
→まちづくり協議会が頼られる。
- ・ 市民公益活動団体のあり方（会費等）や、支援の在り方を検討する。
- ・ 今回のフォーラムのような地域で話し合うことのできる場を作ることが必要である。
- ・ 「楽しさ」だけではなく、「困り事」も共有しながら、まちづくりを進める。
- ・ 自分にしかできないことを自分で、家族にしかできないことを家族でする。
→近隣や地域にしかできないことがある。（機会の創出）
- ・ 地域のコミュニティをコントロールするには人望の力が重要であるが、小学校区の規模になると、人望だけではなく、組織経営能力が求められる。

参加者の声

- ・ 3人1組で話しやすかった。
- ・ 地域でもこのような形式の話し合いができれば良い。
- ・ 初めて会う方としっかり話せてよかった。
- ・ 身近な問題が共有できてよかった。
- ・ もっと多様な方の話が聞ける機会にどんどん参加していきたいと思った。
- ・ 言葉として理解できても、実践は難しいと思った。
- ・ 和やかな雰囲気良かった。